事業番号	08 02 02	事業改善シート(25年度実施事業分) [□予算要	求	口当初予算案	□補正予算案 ■点検
事業名	信州首都圈総合活動拠点整備事業			担当	部局	観光部
尹 未 石					課·室	信州ブランド推進室
	プロジェクト 9-1-4「信州ブランドの確立」				E-mail	brand@pref.nagano.lg.jp
総合5か年 計画	施策の総合的展開	1-2 強みを活かした観光の振興 1 選ばれる観光地域づくり 2-1 魅力ある地域の創造と発信 6 信州ブランドの確立		課		
				実施期間		H25 ~

1 事業の概要

目指す姿	地域間競争が激化する中で、信州と継続的かつ双方向で関わるコアな信州ファンづくりを進めるとともに、信州の優れた「ヒト」「コト」「モノ」をトータルに発信し、人と人との交流を通じて、来訪や購入、移住などにつなげる強固な関係性を築く活動拠点を整備する。							
現状	○全国的に地域間・産地間競争が激化する中で、1市町村、1企業のみで大都市圏や全国に情報発信を行うのは難しい。 ○現在設置している「東京観光情報センター」は、立地や機能などの面で対外的訴求力が弱い。 ○平成26年度末に開業が予定されている北陸新幹線(長野経由)金沢延伸は、県内各地の人の流動を変えるため、本県への観光客誘致や県産品販売のための市場への強力なアプローチが急務となっている。 ○2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定により、東京に世界の注目が集まっている。							
県が関与 する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施: 検討	左記の説明、根拠法令等】 市町村や民間企業を含む全県的な取組として、首都圏に には、県関与が必要である。	組として、首都圏において信州ブランドを発信していくた					
	(1) 成果目標(H25)							
	○首都圏における総合発信拠点検討会議を開催し、基本的な考え方を決定する。○信州首都圏総合活動拠点の運営主体及び店舗物件を決定する。○活動拠点の開設に向けた本体追加工事、内装設計などを進める。② 事業内容(単位:千円)							
	項目	実施方法	H25事業実績	H25		H26		
		美胞力	Π20争来夫領 	(当初)	(決算)	(当初)		
	首都圏における発信拠点整備検討	直接• 委託	・検討会議の開催・検討に係る調査業務委託 委託先((株)umari)	11,500	10,492			
	賃貸借物件の契約	直接	保証料、家賃等		90,363	13,814		
事業内容	内装•設備等工事関係	委託• 請負				139,417		
	オープニングプロモーション 関係	委託				30,403		
	現センター移転関係等	直接• 委託•				13,285		

	Δ	区 分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26年度
	1	前年度繰越 予 当初予算					47,034
	予告					11,500	196,919
事	額		補正予算			138,141	
業			合計(A)	0	0	149,641	243,953
^			国庫支出金				
コ	財源		県 債				
7			その他()				
ス			一般財源	0	0	149,641	243,953
۲	決	と 算 額(B)				100,855	
	概		職員数(人)			2.25	4.25
	人作		概算人件費 (C)	0	0	18,581	35,097
	概算事業費(B(A)+C)			0	0	119,436	279,050

	成果目標の達成状況							
項目	H24末 (実績)		H26					
供日		目標	成果	達成状況	目標			
建物賃貸借契約		契約締結	契約締結	達成				
内装等工事詳細設計		設計完了	設計未了	未達成				
内装·設備等工事		_			完成			
オープニングイベント		1			実施			

11,500

100,855

196,919

合計

目標に対 する成果 の状況

請負

定期建物賃貸借契約については12月20日付けで締結した。 なお、内装等工事詳細設計については、3月末日を履行期限として2月7日付けで委託契約を締結したが、賃借ビルの内装監理室との 協議に不測の日数を要したため事業費を繰越し、4月30日付けで業務が完了した。

2 今後の事業の方向性

I	人然 古世	□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施
	今後、事業をどのよう たしていき たいか	10月26日のオープンを目指し、引き続き整備を進めていく。